

# シンポジウム

## 「東日本大震災から6年 支援活動を振り返って」

2011年3月11日の東日本大震災、そしてそれに続く東電福島第一原発事故から6年が経過した。多くの人命が失われ、仏教でいえば7回忌を過ぎたが、今も悲しみが癒えない。また、なお苦難の生活を続けておられる方々も少なくない。そのことに深く思いをいたしながら、この間の宗教者・宗教集団による支援活動について振り返ってきたい。

3.11以後、これまでになく宗教者の災害支援活動は活性化し、これまでにない新たな支援のあり方も形を見せてきた。しかし、被災者の思いにとどくことができず、十分に実現できなかった側面もあったかもしれない。よかったと思う面も足りなかったと思う面も掘り下げていくことによって、現代宗教のあり方を照らし出す光が見えてくるかもしれない。このシンポジウムでは、支援活動に関わってきた宗教者を囲んで、さまざまな角度から宗教者による災害支援について考えていきたい。

日時： 2017年5月11日（木） 16:00～18:30（開場15:30）

場所： 上智大学（四谷キャンパス）2号館17階 国際会議場

（入場無料、事前申込制、定員150名）

### パネリスト

金田 諦應（曹洞宗通大寺住職、「カフェ・デ・モンク」主宰）

「一没縦跡」

伊瀬 聖子（カリタス釜石）

「ボランティア拠点となったカリタスからひろがった人々の交わり」

～カトリック教会が公益活動に参画した出来事～

篠原 祥哲（世界宗教者平和会議日本委員会）

「福島のコミュニティづくりから展望する宗教者の可能性」

安部 智海（浄土真宗本願寺派総合研究所）

「浄土真宗本願寺派における対人支援」

～東日本大震災における被災地仮設住宅居室訪問をとおして～

稲場 圭信（大阪大学人間科学研究科教授、宗教者災害支援連絡会）

「宗教者の災害時支援活動における連携：現状と課題」

### 司会

島薺 進、鎌田 東二（上智大学グリーンケア研究所）

### 申込方法

会場の席に限りがありますので、以下のいずれかの方法にてお申込みいただき、当日、直接会場にお越しください。

WEBエントリー 右のURLにアクセスしてください。 <https://eipo.jp/griefcare/>

往復はがき 往信面に企画名・氏名・電話番号、返信面に住所・氏名を記入し、下記住所までお送りください。

シンポジウム終了後、18:45より、ソフィアタワー（6号館）1階101ホール教室にて、

「東日本大震災追悼の集い」を開催いたしますので、併せてご参加ください。

主催 上智大学グリーンケア研究所 共催 宗教者災害支援連絡会

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03(3238)3776

URL <http://www.sophia.ac.jp/jpn/otherprograms/griefcare>